

報道関係者各位

アディッシュプラス株式会社
株式会社ヴァル研究所

MaaS向けサポートセンター開設に向け ヴァル研究所とアディッシュプラスが業務提携 新しいモビリティサービスやMaaSアプリへの問い合わせなどに対応

さまざまな企業業種・業態の課題解決をするアウトソーシングサービスを提供するアディッシュプラス株式会社（本社：沖縄県那覇市、代表取締役：石川 琢磨、以下アディッシュプラス）と、経路検索サービス「駅すばあと」を提供する株式会社ヴァル研究所（本社：東京都杉並区、代表取締役：菊池 宗史、以下ヴァル研究所）は、MaaS アプリや実証実験のカスタマーサポートを一次受けし、ユーザビリティ向上と、MaaS 事業者の負担を軽減することを目的に、業務提携を行います。



ヴァル研究所®



adish+

■業務提携の概要

アディッシュプラスは、BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）ソリューションにおける有人運用サービスに強みを持ち、WEB サービスの運用・監視やスマートフォンアプリのカスタマーサポートを展開しています。

一方ヴァル研究所は、経路検索システム「駅すばあと」をベースに移動に関するサービスを展開しています。近年では公共交通機関に限らず、さまざまな移動手段に対応するなど、MaaS（Mobility as a Service）に向けた協業や実証実験を推進しています。

1988年に「駅すばあと」を発売して以来、社内にサポートセンターを設け、さまざまなお客様の問い合わせ対応をしてきました。

特に「駅すばあと」パッケージ製品のユーザーは60代以上が全体の約50%※と高齢化しており、高齢者へのサポート経験が豊富です。

このたびアディッシュプラスとヴァル研究所は、MaaS 向けのカスタマーサポートや問い合わせ対応を行うため業務提携を行い、MaaS 向けサポートセンターの共同開設を目指します。

MaaS 向けサポートセンターが、ライドシェアなどの新しいモビリティサービスやMaaS アプリなどの利用者からの問い合わせを一次受けすることで、MaaS 事業者の負担が軽減されることが期待できます。

※ヴァル研究所が2015年に実施したアンケート結果より

■背景

2019年6月18日（火）に国土交通省・経済産業省が「スマートモビリティチャレンジ推進協議会」の支援地域・事業を発表するなど、MaaS への注目はより一層高まっています。

今後、MaaS の広がりによって、利用者の拡大と同時にデジタル化されたサービスの利用経験が少ない高齢者などの利用が増えると予想され、利用方法やさまざまな問い合わせに対するサポートの必要性が高まると考えられます。

カスタマーサポートに強みを持つアディッシュプラスと、ヴァル研究所がこれまで「駅すぱあと」ユーザーの問い合わせ対応で培ってきたノウハウを活かし、質の高いMaaS向けカスタマーサポートの構築を目指します。バックオフィスの業務サポートも視野に入れ、協力して取り組んでまいります。

■当事会社の概要

＜アディッシュプラス株式会社＞

主な事業内容	24時間365日対応のソーシャルメディアに関するモニタリング&マーケティング、スクールガーディアン（子どものインターネット利用に関する課題解決）、ソーシャルアプリ、EC等のカスタマーサポート代行（電話・メール・チャットなど）、WEBサービスの企画・構築・運用・保守
設立	2012年6月
資本金	2,750万円
本社所在地	沖縄県那覇市久茂地1-7-1 琉球リース総合ビル9階
代表者	代表取締役 石川 琢磨
URL	https://www.adishplus.co.jp/

＜株式会社ヴァル研究所＞

主な事業内容	「駅すぱあと」をベースとした製品・サービスソフトウェアの開発・販売および管理運営
設立	1976年7月
資本金	4,100万円
本社所在地	東京都杉並区高円寺北2-3-17
代表者	代表取締役 菊池 宗史
URL	https://www.val.co.jp/

※記載されている会社名、製品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

※仕様や提供内容については予告なく変更となる場合があります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

アディッシュプラス株式会社 社長室：仲間

TEL：098-869-8555 FAX：098-869-8556 MAIL：adsp-kanri-ml@adish.co.jp

株式会社ヴァル研究所 広報担当：鈴木・福井

TEL：03-5373-3529 FAX：03-5373-3512 MAIL：pr-office@val.co.jp